

(問) TPPの合意内容に賛成か?

(答) どちらかということ賛成 (堀江市長)

全国	賛成	23.0%
全国	反対	36.9%
県内	賛成	6.8%
県内	反対	56.8%

《12月議会一般質問》

1. TPP問題について
2. 介護保険制度について
3. 危険な空き家問題について
4. 住宅リフォーム等支援制度について

TPPの影響は?

昨年10月『環太平洋連携協定』交渉は、大筋合意した。農産物重要5品目(小麦、牛肉、乳製品、砂糖などの甘味料)は、586品目のうち174品目、約3割が関税撤廃。関税が維持された品目も、段階的に削減され牛肉は現在の38.5%が16年目には9%に。国会決議では、“重要5品目は除外”となっていた。これは明らかに決議違反です。

問(全国知事、市区町村長アンケートの結果は、反対37%、賛成23%だったが、市長はどのような回答をされたか?)

市長答) どちらかといえば賛成に○をしたが、どうい影響があるかはなかなか難しい。今までは日本は貿易の輸出によって成り立ってきた国。今後の国のあり方を考えるとグローバルな経済の中で、そこに日本が入って行かないと立ち行かなくなるのではという考えもある。担当部長答) 当市の農産物は、競合する輸入品目は少ないので、影響は限定的ではないかと考えている。



関税撤廃が始まれば、広大な農地を持つアメリカやニュージーランドには太刀打ちできない。農林水産業の衰退は、伝統文化も含む地域コミュニティの崩壊・消滅につながる。一部の人の儲けが増えたとしても、地域の大多数の人々の生活は崩壊し、所得格差が益々拡大し、失業者も増えることになるのではないかと。また、アメリカなどの牛肉・豚肉・乳製品には、日本で認可されていない成長ホルモンなどが使用されており、遺伝子組み換え食品の拡大など私たちの食の安全も失われてしまう。市長の回答は、市民の立場にたった回答だったのか。国の悪政から市民を守るのが自治体の長ではないのか。農業の経営を守るための対策として『所得保障制度』『価格補償制度』の創設や『地産地消』を進めることが必要です。

住民の声... 危険な空き家は何とかして欲しい

人口減少と共に空き家が目立つようになった。“危険な空き家”については、住民からも 通学路にある空き家が心配」との声が寄せられている。

空き家対策特別措置法』※)の施行を受けて市はどう対応をしたのか聞いた。

問) 法の施行を受けて実態調査はしたのか?

答) 平成26年10月に調査した空き家は、大矢野町289戸、松島町134戸、姫戸町63戸、龍ヶ岳町176戸、合計662戸です。危険な空き家は対象となっていないので調査していません。今検討しており、28年度に調査委託を計画しています。

問) 空き家再生等推進事業』を活用すれば、危険な空き家の撤去もスムーズに進む。

成25年3月議会でも質問) この事業については? 答) 補助金については認識しているが、現在特別な対応はとっていない。

近年、温暖化の影響で異常気象が続いている。集中豪雨や台風などで、空き家への被害も心配。また、子ども達が空き家に入り込むなど、事故が起こってからは遅い。法の施行を受けて、市には、早急な対応が求められる。

住宅リフォーム助成制度の拡充を!

建設業者の強い要望もあり、やっと年間500万円の予算で再開した制度だが、全国的にも経済の活性化に効果があると実証済みの制度だ。

問) 今年度予算での費用対効果は? また、申請の現状は?

答) 500万円の予算で、7200万円の工事があった。予算に達したところで締め切ったが、その後の問い合わせは13件あった。問) 天草市では、当初予算1億円だったが、使い切って、補正で4000万円増額された。当市でも、補正で対応すべきではなかったか? 答) 受付開始が遅れたため、対応できなかった。今後、早めにして財政課と協議することができるかなと思っています。



どの自治体の財政状況も同じだ。この制度は、廃屋の解体にも活用できるので、『空き家問題』にも有効。『地方創生』は、人口減少に歯止めをかけ地域活性化を促すための取り組みではないのか。そのひとつの施策として、建設業者の流出を防ぎ、地元で仕事を生み出す大きな効果がある。新年度予算で拡充をすべきだ。

※『空き家対策特別措置法』とは.....

1. 倒れる恐れがある
2. 衛生面で有害
3. 景観を損なっている
4. 周囲の生活環境に影響を与えている

一昨年11月に成立し、昨年5月から完全施行されました。右のような問題のある家を『特定空き家』とし、持ち主に取り壊しや修理をするよう、自治体が指導・勧告・命令できるようになったもの。従わないと、固定資産税の優遇をなくし増税したり、強制撤去も可能になった。

宮下しょう子の ひまわり新聞

日本共産党上天草市委員会
上天草市大矢野町中 4435-9
Tel0964-57-0408 Fax0964-57-0410

宮下しょう子自宅
上天草市姫戸町姫浦 2381
Tel・Fax0969-58-2901 携帯 090-5283-3100

2016年1月
~第69号~

《9月議会一般質問》

1. 前島地区総合開発事業について
2. 市立図書館について
3. 市職員について

市職員は非正規雇用が4割！

《市職員の現状について》

現在当市は、窓口業務を外部に委託（アウトソーシング）している。合併時と比較すると職員は150人程減少しているが、実態は40%が非正規職員である。（下表）とくに、専門職（図書館司書、保育士、学校給食など）で多くなっている。

行政効率化の名の下に正職員が減らされ、臨時・非常勤職員が公共サービスを、おおかた担っているのが現状だ。非正規の年収は200万円程度で、生活できる水準のボーダーラインと言われている。

自治体が、“働いても働いても生活できないワーキングプア”を生み出しているのではないか。自治体の調査では「正規と非正規の業務内容はまったく同じ」と大多数の人が回答している。

（問）地方では、役所は大きな働き場所。特に司書や保育士など専門性のある職員は正規で雇うべき。

（答）行政も効率化を図る。行政が担っている部分をどう地域の方に担って頂けるか、あるいはNPO法人の育成などで民間にどうやったら移管できるかを考えていかなければならない。

『マイナンバー制度』も始まり、支所でも受付が始まるが、窓口は民間委託となっている。「事務処理に支障はないのか。」と心配する市民の声も多い。



市職員数の推移表（老人ホーム・病院除く）

	正規数	非正規数	合計	非正規が占める割合(%)
平成16年	437	179	616	29
平成24年	316	182	498	37
平成27年	298	202	500	40

※平成16年（合併時） ※平成24年（窓口業務委託前）

新市長になって見直しとなった2つの事業について、市民から「今後の計画はどのようなのだろうか、聞いてほしい。」との声が寄せられ質問しました。

○市立図書館の充実について

大矢野図書館は、建設から38年が経過し、雨漏りや傷みで危険な状態になっている。又、住民が利用しにくい場所にあり、バリアフリーにもなっていない。利用者減少の原因ともなっている。



（問）今後の計画は？

（答）現在、図書館協議会に対し、図書館事業のあり方について諮問を行なっている。今年度中には、ご意見がいただけるものだと思っている。

現図書館は、しばらくはその都度修理など対応していくということだが、相当痛んでいるので、移転は早急に検討してほしい。廃校を利用すれば建設費用もかからず、親子で遊べる場所や高齢者と集える場所になるのではないかな。

（問）市長が考える市立図書館のあり方とは？

（答）当市の環境では、それぞれのエリアで図書に親しむことのできる施設を分散させて、連携をとる形が本来のあり方。新図書館は、基金が3億円余り。既存施設との抱き合わせか改修で改めてやることになると思う。

（問）開館時間の延長はできないのか？

（答）嘱託対応となっているため、勤務体制の問題でできない。

司書やボランティアの皆さんの努力で、利用者も少しずつ増えているが、図書館に来る人が少ないなら、移動図書館の充実や親子で参加できるイベント、仕事を持っている人が利用しやすいような開館時間の延長など考えたらどうか。

司書の正職員化を進めれば、利用時間の延長や長期的な計画を立てることができるなどメリットが多くある。

○前島地区総合開発について

民間企業がレストランとみやげもの店をオープンし、観光客も増えているようだ。

公衆トイレなど工事も着々と進んでいるようだが、市が購入した民有地（ヤマハ跡地）は、事業の見直しによりストップしたままである。

（問）民間企業が商業施設をオープンしたが、問題は発生していないか？

（答）住民や事業者とのトラブルは特にご意見や情報は寄せられていない。

（問）今後のヤマハ跡地の計画はどうなっているのか？

（答）現在、地区周辺の複数の施設に、従業員の臨時駐車場として有料で貸し付けている。

行政の理念で観光拠点をつくるということが必須の条件。5カ年計画で行なう。交差点協議のめどが立った段階で事業に入りたい。



すでに、水族館がありレストラン、みやげもの店などオープンしている。

今後は、観光客を呼び寄せるために、海を活かした施設や遊具など備えた施設はどうか。身の丈に合

った開発が最良だが、市民の声を聞き『協議会』でも知恵を出し合って進めてほしい。



☆図書館サービスを実現するために必要なこと

- ① 市民にとって身近な図書館になっているか。
- ② 豊富な蔵書・資料があるか。
- ③ 経験豊かな図書館員がいるかどうか